

# アステラス製薬株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業種：製薬業</li> <li>● 事業概要：医薬品の製造・販売および輸出入</li> <li>● 事業規模[任意]：（売上;1,311,665百万円、主要グループ会社;92社、従業員数;17,202名）2017年3月現在</li> </ul>
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p>＜Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み＞            目標 Scope1・2 に関して、2030年に2015年比で30%削減</p> <p>＜Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み＞  <b>未定で社内議論中。</b>            （例：Scope3カテゴリ1：20XX年に201X年比で●%削減など）            （例：サプライヤーとの連携により、容器包装の軽量化、リサイクルの推進等に取り組む。また使用段階の削減のため、研究開発投資を増加させる、など）</p>

# アステラス製薬株式会社

項目	内容																							
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況 (※割合は必須、グラフを挿入)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1 : 98,500 [tCO2] (任意)</li> </ul>																						
	<table border="1"> <caption>CO2排出量</caption> <thead> <tr> <th>Scope</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スコープ1</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>スコープ2</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3_cat1</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3_cat2</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3_cat3</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3_cat4</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3_cat5</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3_cat6</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3_cat7</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3_cat12</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>	Scope	Percentage	スコープ1	20%	スコープ2	26%	スコープ3_cat1	20%	スコープ3_cat2	19%	スコープ3_cat3	6%	スコープ3_cat4	1%	スコープ3_cat5	6%	スコープ3_cat6	1%	スコープ3_cat7	0%	スコープ3_cat12	1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE2 : 127,796 [tCO2] (任意)</li> </ul>
	Scope	Percentage																						
スコープ1	20%																							
スコープ2	26%																							
スコープ3_cat1	20%																							
スコープ3_cat2	19%																							
スコープ3_cat3	6%																							
スコープ3_cat4	1%																							
スコープ3_cat5	6%																							
スコープ3_cat6	1%																							
スコープ3_cat7	0%																							
スコープ3_cat12	1%																							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE3 : 268,903 [tCO2] (任意) 目標の対象セクター :</li> </ul>																							

# アステラス製薬株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GHG排出のcap &amp; tradeスキームが義務化されれば、試行排出量取引に参加した自社には低炭素戦略が根付いており、会計上の機会となる。</li> <li>● 京都議定書のみならず、モントリオール議定書に基づくオゾン層破壊ガス排出のさらなる規制が出された場合、自社にはフロン類を用いない喘息治療薬があり影響は受けない。</li> <li>● 気象パターンや平均気温が変化し、特定地域は伝染病が蔓延すれば、顧みられない熱帯病に向けた早期の新薬創出に取り組む自社には、開発やビジネスの好機となる。</li> <li>● 自社はCSR経営を活動の根幹としており、その活動は投資家からも高評価を得ている。気候変動に対する自社のコミットメント、積極的な対応は、自社の評判の底上げにつながる。</li> <li>● サプライチェーンを含めた持続可能性に取り組む文化が、ステークホルダーから高い評価を受けることにつながる。</li> </ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中長期CO2削減目標の策定を計画。この目標が2度目標の水準に整合すると表明できるように、SBTの認定を受けることを目指している</li> </ul>

# アステラス製薬株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自社のグローバルなCSR活動を審議する会議体（CSR委員会）でSBTの考え方や自社気候変動対策の見直し計画概要については理解を得た。今後、（数値目標を含む）具体的な内容について部門間議論し、最終、年度末のCSR委員会で承認を得たうえでSBTイニシアチブへ提出を想定。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● Scope 1・2の削減において、自力でできる取り組みをどこまで実施するか（どの程度まで投資するか）を明確にしておくことが必要。</li><li>● Scope3の目標設定。（例えば削減目標の達成のために、サプライヤーとの協働と進捗を管理することが可能か未確認）</li></ul>